

「教員免許状更新講習」

★事業の概要★

事業のねらい

1. 学習指導要領における体験活動の取扱いを理解する。
2. 教員自らが体験活動を行うことで、安全に配慮した指導法と技術を身につける。

期 日

平成27年8月1日（土）～ 8月3日（月）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

小学校教諭
 （平成28年3月31日及び平成29年3月31日が修了確認期限の者）
 ※小学校の事例を多く扱うため、対象は小学校教諭とするが、中学校教諭・高校教諭、特別支援学校教諭等の受講も可能

参加者数：参加募集人数

20名：20名

講 師

中 田 和 彦 氏（北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 主幹）
 小 野 浩 一 氏（名寄市教育委員会 教育長）
 笠 井 稔 雄 氏（北海道教育大学旭川校 教授）
 濱 谷 弘 志 氏（北海道教育大学岩見沢校 准教授）
 阿 部 豊 （国立大雪青少年交流の家 所長）
 平 井 論 氏（札幌市青少年科学館 天文指導ボランティア）
 吉 田 玄 一 氏（札幌市青少年科学館 天文指導ボランティア）
 国立大雪青少年交流の家企画指導専門職等

日 程

	9:00	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00	15:15	17:00	17:30	18:30	20:30	22:00
8/1 (土)		受付	開講式 ガイダンス	【講義①】 学校教育における 体験活動の意義と学 習指導要領	昼食	【実習①】 体験活動をおとした望ましい 人間関係づくり	休憩	【講義②】 青少年教育施設にお ける体験活動の実際	休憩	夕食	【実習②】 授業に生かせる天体 観測の指導法	休憩
	7:15	7:30	9:00	12:00	13:00	18:00				22:00		
8/2 (日)	つどい	朝食	【実習③】 災害時に役立つ野外炊事	昼食	【実習④・講義③】 夏期間の体験活動と安全管理				夕食	休憩		
	7:15	7:30	9:00	10:30	11:00	12:30	13:00					
8/3 (月)	つどい	朝食	【講義④】 今日的な教育課題	休憩	履修認定 試験	閉講式						

★プログラム紹介★



講義①「学校教育における体験活動の意義と学習指導要領」

学習指導要領における体験活動について、小・中・高の校種別に比較し、それぞれの発達段階における体験活動の意義について理解を深めた。



実習①「体験活動をととした望ましい人間関係づくり」

円滑な人間関係やコミュニケーション能力を高めるための指導法について、実技やグループワークを通して学んだ。



講義②「青少年教育施設における体験活動の実際」

体験活動とその後の人間性との関係について、調査データを紹介し、体験活動の重要性について理解を深めた。



実習③「災害時に役立つ野外炊事」

災害時に活用できる燗製作りやジップロックを使っての米炊きを、指導の際の留意点を理解しながら行った。



講義③実習④「夏期間の体験活動と安全管理」

活動時に起こりうるリスクについて、屋外で行われる体験活動を通して学び、指導者として確認すべき安全管理について学んだ。



講義④「今日的な教育課題」

「学校力」とは何かを「効果のある学校」という視点から考え、学校という存在についての理解を深めた。

企画・運営のポイント

交流の家の自然環境を最大限に生かした体験活動プログラムを設定し、受講者が教育現場で普段経験できないプログラムを展開した。その中において、体験活動の意義や必要性に重点を置き、学習指導要領に位置づけられた体験活動や学校現場の課題を取り上げることで、プログラム全体に統一感を持たせた。

事業を終えて(成果と課題)

青少年教育施設を活用した体験活動の特色を受講生に再認識してもらうことができた。

青少年教育施設において「教員免許状更新講習」が開講されているという認識が浸透していないために、今後も引き続き広報活動を充実させていく必要がある。

今後の方向性

今後も交流の家の自然環境及びツールを全面に出した体験活動プログラムを企画する。

近隣の大学等で開講されている講習と日程が重ならないように調整する。